

## 令和4年度第2回 幸田町地域公共交通会議 議事録

1 開催日時 令和5年3月29日(水) 10:00～11:10

2 開催場所 幸田町保健センター 2階 視聴覚室

3 出席者

### 【委員】

区分	職名等	氏名	備考及び代理出席者等
学識経験者	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所工学科 教授	森川 高行	会長
	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正	欠席
交通事業者等	愛知県タクシー協会岡崎支部 支部長 (岡陸タクシー(株))	浅岡 林平	
	幸田タクシー株式会社 代表取締役	葉賀 玲子	
	株式会社レミックス 代表取締役	池田 広史	
	町内交通事業者 運転手代表 (株レミックス)	三浦 節夫	
住民・利用者	幸田町区長会 会長	稲吉 好司	欠席
	幸田町商工会 会長	神取 勇	欠席
	幸田町老人クラブ連合会 会長	稲吉 勲周	
	幸田町身体障害者福祉協会 会長	加藤 雅敏	
	幸田町手をつなぐ育成会 会長	小山 興建	
	幸田町聴覚障害者福祉協会 会長	高橋 恵子	
行政	国道交通省 中部運支局 愛知運支局 首席運輸企画専門官	山内 三奈	
	愛知県都市・交通局交通対策課 担当課長	大林 益英	欠席
	愛知県 西三河建設事務所 維持管理課長	増岡 浩仁	
	愛知県警察 岡崎警察署 交通課長	稲吉 昌志	係長 竹下 智
	幸田町 副町長	大竹 広行	

敬称略

### 【事務局】

職名	氏名	備考
幸田町 企画部 企画政策課 課長	稲熊 公孝	
幸田町 企画部 企画政策課 主幹	柴田 淳一	
幸田町 企画部 企画政策課 主査	内田 大貴	

## 4 会議次第

- 1 挨拶
- 2 報告事項
  - (1) 幸田町の公共交通について（町運営分 令和5年2月末時点）
  - (2) 令和4年度第1回幸田町地域公共交通会議（令和5年7月25日開催）時の意見に対する回答について
- 3 協議事項
  - (1) 【第1号議案】令和5年度幸田町地域公共交通会議事業計画（案）について
  - (2) 【第2号議案】令和5年度幸田町地域公共交通会議予算（案）について
- 4 閉会

## 5 資料

- ・ **資料1** 幸田町の公共交通について（町運営分 令和5年2月末時点）
- ・ **資料2** 令和4年度第1回幸田町地域公共交通会議（令和5年7月25日開催）時の意見に対する回答について
- ・ **資料3-1** 【第1号議案】令和5年度幸田町地域公共交通会議 事業計画（案）  
【第2号議案】令和5年度幸田町地域公共交通会議 予算（案）
- ・ **資料3-2** 幸田町地域公共交通計画策定事業概要

## 6 議事内容

### 1 挨拶

（森川会長挨拶）

年度末のお忙しい中、お集まりいただき感謝。3月27日に町の議会で本会議への負担金の予算が認められたとのことで、幸田町の公共交通において非常に大きなことだと感じている。したがって、本会議の協議事項においても前回と同様に忌憚のない意見をいただければと思っている。

### 2 報告事項

・ 事務局より**資料1**に基づいて説明

【質疑等】

委員：藤田乗合直行タクシーについて令和3年度から令和4年度にかけて運行経費が下がっている理由は？

事務局：運行当初の相見駅から藤田医科大学岡崎医療センターへのルートに対し、令和4年3月に幸田町役場を停留所に追加したことにより、運行本数が減少し運行経費が下がった。

委員：チョイソコこうたについて、運行エリアの拡大に際し、車両台数の変化はあったか？

事務局：車両1台でも十分に対応できる見込みがあったため、運行エリア拡大に際し、車両を増やすことはしていない。

委員：利用者の増加は良いことだが、待ち時間が増えたことによる苦情等はあるか？

事務局：利用者の増加により、待ち時間も増えていると思うが、今のところ苦情等はない。

委員：チョイソコこうた導入により、えこたんバスの利用者に関しての影響はあるか？

事務局：えこたんバスからチョイソコこうたの利用に切り替えた人も一定数いると思われるが、実態は把握できていない。

しかしながら、令和5年度にえこたんバスの利用実態についての調査を予定しているため、可能な限り把握していきたいと考えている。

委員：利用者数は増加しているが、またまだ、日常の交通手段として定着しているわけではないので、チョイソコこうたとえこたんバスをバランスよく利用できる体系にすることが重要だと感じる。

藤田乗合直行タクシーについては、未だ利用されていない地域の利用を促進するためのアプローチが重要だと感じる。

また、来年度、地域公共交通計画を策定していくと思うが、直近における利用促進等に関する予定等があれば教えていただきたい。

事務局：えこたんバスのルート変更については、本会議にはかりながら時間をかけて検討していきたいと考えている。チョイソコについては藤田乗合直行タクシーとの接続性を重視し、相見駅を停留所に追加することを検討している。また、説明会を開催しながら利用促進につなげていきたい。

委員：藤田乗合直行タクシーについて役場と相見駅の停留所における利用の人数割合を教えてください。

事務局：役場と相見駅における利用の人数割合は1：1となっている。

委員：チョイソコこうたや藤田乗合直行タクシーの運行委託における業者選定についてはどのような考えか？

事務局：現在は町内の業者に委託をしており、今後についても引き続き町内業者に委託していく予定。

委員：現在の運行範囲で事業が継続できる見通しが立たないと事業者は雇用が難しい。また、事業者の接客などを事業者と町が連携して町のためにどうしたらよいかを考えて運営してほしい。

・事務局より資料2に基づいて説明

#### 【質疑等】

委員：令和2年度から令和4年度にかけて、えこたんバス利用者が減少しており、コロナの影響と考えられる。しかし、2万4000人程は必要としている利用者が居る。スクールバスの利用者が平成31年度から令和2年度にかけて急激に減少している。短期間で子供の数が増減することは考えにくい。現在の利用者の利用方法・利用実態を把握し、同じニーズを持つ方に広めていくことで利用者を増加させることができるのではないか。

停留所の危険性についての評価が出ているため、補助制度などもあり対応策を講じる必要がある。

事務局：現在、ルート変更を考えている。利用者の意見を聞き、停留所の利用状況などを勘案しながら検討していく。危険な箇所を担当に情報共有すると共に、利用できる補助制度などがあれば共に伝えていく。

委員：えこたんバスのスクールバス利用が令和2年度に休校によって減少したまま令和4年度にも回復しないのはなぜか。

事務局：教育委員会が空いているえこたんバスを利用しているため、詳しいことは不明であるが、教育委員会の方針が変更されたのではないかと考えられる。詳細は今後確認していく。

### 3 協議事項

・事務局より資料3-1、資料3-2に基づいて説明

#### 【質疑等】

委員：国の補助を受ける時に、事業に対する自己評価と第三者による評価が必要となる。初年度であるため、把握をしておいてほしい。

ニーズ調査の実施方法について Web アンケートであるが、利用者の年齢層を考えると実際のデータに合わないのではないかと。直接のアンケートなどを行い、様々な方法で実態に沿ったデータを集めるべきではないかと。

事務局：Web だけで調査することは難しいため、老人会などに協力いただきヒアリング調査を行っていききたい。

福祉ベースの成り立ちであるため、その点を考慮して事業を進めていききたい。

初めての試みもあるため、アドバイスを受けながら進めていききたい。

・第1号議案、第2号議案の承認

事務局：議案の承認を得られたため、計画に沿って事務を進めていく。また業者等が決定次第、会議を予定している。

### 4 閉会

事務局：年度末のお忙しい中お集まりいただき、また慎重に議論していただきありがとうございました。来年度は地域公共交通計画策定に向けた事業を進めていくにあたり、年4回程度の会議を予定しています。引き続き、幸田町の公共交通についてのご意見をいただければと思っております。